

当院ではCPAP療法の遠隔モニタリングを実施しております。

【CPAP遠隔モニタリングとは】

CPAPの使用記録をCPAP装置から「データセンター」と呼ばれる施設に携帯電話回線を通じて記録を送信します。

「データセンター」では送られたCPAPの使用記録を保管致します。医療機関はその保管された使用記録をインターネット上で、確認することができます。

※携帯電話回線や医療機関から接続されるインターネット上のデータは暗号化されています。

【どんなメリットがあるの？】

✓ CPAP装置に取付けてある「SDカード」等を、患者様が受診時に持参して頂かなくても解析ができるようになります。

✓ 医療機関が事前に解析結果を確認することができるため、緊急な問題がある際など、来院前に早急な対応が必要な際にはご連絡するなど必要なご指導が可能となります。

✓ 遠隔でモニターが可能な為、毎月でなく隔月の通院が可能です。

CPAP遠隔モニタリングの概要図



CPAPご利用者様

使用記録の送信



データセンター

使用記録の保管



医療機関

CPAP使用状況確認



Q&A (遠隔モニタリングについて)

Q CPAP受診費用とは別に通信費用がかかるの？

A 通信費用が別途請求されることはありません。

Q 通信のために何か機械を操作する必要はありますか？

A 特別な操作は必要ありません。いつも通り装置をご使用頂ければ、装置が自動的に通信作業を実施致します。

Q 機械が常時監視しているのですか？

A 常時監視しているのではなく、機械の停止 1時間後に機械の作動状況(機械のオン/オフや使用圧力等)をデータセンターへ送信致します。

Q 「データセンター」で保管されるデータの内容は？

A 主に装置の機体番号及び作動状況、患者様の名前です。

※通信内容に、患者様の名前が含まれることはありません。

Q 「データセンター」のセキュリティは？

A マイクロソフト社が管理する日本国内の施設です。

厳重なセキュリティで常時監視されております。

Q どうしても「遠隔モニタリング」をして欲しくないときは？

A 当院スタッフにご相談下さい。

「データセンター」でのデータ受信を停止することが可能です。

※従来通りの「USB」の持参による解析を実施させていただきます。



CPAP装置の使用・取扱等については付属の取扱説明書をご覧ください。